

絵本の館から 夢☆発☆信

12月号

年末年始の開館について

令和3年 12月28日は17時まで開館です。
12月29日～31日 休館
令和4年 1月1日・2日 休館
1月3日10時～15時 ★特別開館★
1月4日・5日 休館
1月6日は10時から通常開館いたします。

※新年3日の特別開館にご来館された小学生以下のお子様にはプレゼントがあります。
(数に限りがあります)

アウトサイダーアート展

「アウトサイダーアート」とは、伝統的な美術の教育を受けていない方たちによる芸術のことです。

「アール・ブリュット（生の芸術）」とも呼ばれ、近年ますます注目が高まっています。流派や流行にとらわれない、純粋な創作意欲から産まれた作品の数々を、ぜひご覧ください。

期間 令和4年1月7日(金)～23日(日)
会場 絵本の館「展示ホールB」(入場無料)



西原の里作品展示会

展示 令和4年1月29日(土)～2月6日(日)
販売 令和4年2月5日(土)～2月6日(日)

新刊えほんのごあんない

『3人のパパと3つのはなたば』

クク・チスン//作、斎藤真理子//訳(ブロンズ新社)

この絵本の主人公は、OK 宅配のキム運転手と、小児科のキム先生と、建設会社のキム課長。

忙しい仕事をやっと終えて、花束を抱えて向かった先は…?

大人の方に読んでほしい、特別な一日の絵本です。



新刊のごあんない

【絵本】

『スパゲッティのうた』ペこみそ(はらぺこめがね)

×DJみそしるとMCごはん//作(あかね書房)

『カピバラのだるまさんがころんだ』

中川ひろたか//作、柴田ケイ子//絵(金の星社)

【児童書】

『大人も知らない? ふしぎ現象事典』

「ふしぎ現象」研究会//編、ヨシタケシンスケ//イラスト

(マイクロマガジン社)

『なぜ、穴を見つけるとのぞきたくなるの?』

子どもの質問に学者が本気でこたえてみた。』

石川幹人//著(朝日新聞出版)

『ミンタラ① アイヌ民族 27 の昔話』

北原モコットウナシ//編著、小笠原小夜//絵(北海道新聞社)

【一般書】

『知られざる日本に眠る若冲』

狩野博幸//監修(エクスナレッジ)

『透明な螺旋』

東野圭吾//著(文藝春秋)

『ペッパーズ・ゴースト』

伊坂幸太郎//著(朝日新聞出版)